

平成27年度第5回新名取市図書館施設整備検討委員会議事録

|              |                             |  |
|--------------|-----------------------------|--|
| 会議名          | 第5回 新名取市図書館施設整備検討委員会        |  |
| 日時           | 平成27年11月6日(金) 14時30分～16時00分 |  |
| 場所           | 名取市図書館 南館                   |  |
| 出席者<br>【13名】 | 委員7名                        | 早川光彦、天間環、佐伯幹子、板橋正春、三塚玲子、<br>下澤なおみ、大野千晴 |
|              | アドバイザー                      | 岡本真                                    |
|              | 事務局3名                       | 図書館 柴崎悦子館長、石川雅一主査、西山真喜子司書              |
|              | 説明員2名                       | 増田復興再開発推進室 松原妃主事<br>(株)山下設計東北支社 大平順子主任 |
| 欠席者          | 委員2名                        | 志賀保史、長沼明子                              |
| 傍聴者          | なし                          |  |

## 1 開 会

### ◎事務局

前回申し上げていました開始時刻と通知の開始時刻と異なったことによる混乱を招いてしまい、大変申しわけございませんでした。ただ今から平成27年度第5回新名取市図書館施設整備検討委員会を始めてまいります。それでは開会に当たりまして、あいさつを早川委員長にお願いしたいと思います。

## 2 あいさつ

### ◎早川委員長

皆さん、こんにちは。今回の検討会で示された施設内のレイアウトについて、いよいよ最終的なご審議をいただく段階になりました。本来であれば開設準備室のような組織で進めることができているならば、もう少し余裕を持つことができていたのではないかと思うところですが、そのような組織が無い中、非常に厳しいスケジュールの中で事務局が進めてこられたことだと思います。健康に気を付けていただきながら、これからますます大変になっていきますので頑張って進めていただきたいと思います。

今日のレイアウトですが、図書館が新しくできる時は、市民の方の要望等がどのように反いい形で反映されていくかが一番大事なところだと思います。私も個人的に幾つかの新しい図書館の開設に関わっておりますが、図書館が新しくなる時というのは、図書館だけではなく、市役所自体もいろいろな面で真価が問われるのだらうと考えております。

名取市はいよいよ皆さんの願いが形になる段階まで来たと考えております。館内レイアウトのご意見をいただくのも最終段階ですのでよろしくお願いたします。以上でご

あいさつとさせていただきます。

#### ◎事務局

はい、ありがとうございました。続きまして、本日の会議ですが、新名取市図書館施設整備検討委員会設置要綱では、会議出席者数による定義は特にございませませんが、午後3時ごろまでに来られる委員は2名、欠席された委員は2名となっています。

本日の会議は、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により公開の対象となりますが、本日傍聴の方はいらしていません。

また、非公開となるような議事の予定はしていませんが、非開示情報が含まれる場合は、会議に諮り決定していただくことになっております。

なお本日の会議録につきましては、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第9条の規定により、市政情報コーナーで会議を開催した日が属する年度の翌年度の4月1日から起算して3年間、閲覧に供される他、インターネット上、市のホームページに1年間公開されます。公開時の名前は、名字 ○○委員と表記されますのでご承知願います。

### 3 前回会議の報告

#### ◎事務局

次に前回会議の報告になりますが、本日の通知と議事録を送らせていただいておりますので、ここでは省略させていただきます。

### 4 議事

#### (1) 施設内のレイアウトについて

#### ◎事務局

それでは、議事に入ってまいります。設置要綱第5条により議事の進行を早川委員長にお願いします。

#### ◎早川委員長

それでは議事に移ります。施設内のレイアウトについて、ご審議いただきたいと思っております。それでは事務局から説明をお願いいたします。

#### ◎柴崎館長

本日皆さんからいただいたご意見を最終にしたいと考えております。それではお配りした図面を使って説明させていただきます。これまで皆さんからいただいたご意見をかなり反映させています。

まず2階フロアになりますが、雑誌と新聞のコーナーで雑誌架の配置を見直しました。中に入ってフロアの方に、斜めで差込式のオーソドックスな雑誌架を4本配置しました。この雑誌架は差込式なので、上3段程度を面見せし、下2段は縦にバックナンバーを収容できるような形で、かつ雑誌が倒れないよう細かい仕切りを付けてもらいたいと思っています。

それから新聞ですが、前回までは2階フロアに1年分の新聞を置くような図面になっていましたが、ここには1ヶ月分だけの新聞を置くこととし、3階フロアに1年分を上げることにしました。それから新聞を広げて使うような大きな机と席数を前回より減らし6席だけにし、減らした部分については普通の閲覧テーブルを置くこととしました。1年分のストック棚が無くなりましたので、ゆっくりとくつろいで読めるようなソファを配置しております。

次に児童コーナーですが、前回よりもかなり広めにレイアウトしました。中央に丸い青いソファが2つありますが、その右側が全て児童コーナーとなります。縦に配置している4連の書架は、子育て関連本や児童文学研究本という大人向けの本を配置したいと考えています。横に配置しているものは、全て絵本架や子ども向けの本になります。

また南側に書架を置いていましたが、児童用トイレ近辺にあった家型家具や汽車型書架と丸いテーブル3つを配置しました。ですから小学生が図書館の見学でこのフロアに来た時に、このテーブルがある場所に全員集合することができるようになります。

次にカウンターですが、登録相談、返却カウンターを前回と逆の向きにしました。これはコンシェルジュ的な案内カウンターとして、利用者が入ってきてすぐわかる場所の方が良いかと思えますし、また職員にとっても利用者の様子を把握しやすいのではないかと考えました。ですから記載台も逆に配置しました。

またカウンター右側にある5連3段複式書架ですが、こちらは当日返却された本をここに一時的に置く棚にしたいと考えています。こちらの本は当然借りられる本なのですが、利用者の様子を見ていますと、他の方が借りた本を借りていくということがとても多く見受けられます。

次にスタッフ室やボランティア室の下の展示棚ですが、展示棚の右側半分は暮らしに役立つような本、料理や手芸、家事、収納といった本を置きたいと考えています。

それからその隣のAVコーナーですが、前回まではAVコーナーの右側には書架が無くすぐにトイレだったのですが、2連6段単式書架を配置することによって、よりコーナー的な色合いが出てくるのではないかと考えています。

それからトイレですが、今回児童コーナーを膨らませたために、男子と女子を入れ替えた方が良くはないかと思い、今回逆にしております。

次に3階フロアについて説明します。

3階フロアの右側に新聞収納棚がありますが、こちらは先ほど申し上げましたように1

年分の新聞紙を収納したいと考えております。

次に手前カウンターの後ろにじっくりと相談に乗れるようなレファレンスカウンターを設けております。

それからカウンターの右側は全て参考図書、調査研究用に使うような百科事典・字書類を置くようなコーナーとなっております。

また前回書架脇にあったスツールを置いていた所を外し、その分棚を増やしております。

それから中央の書架の下の方に変な形のテーブルがありますが、斜め上に自動検索機があつて、その下に大型書架 2 連 2 段複式と書かれている棚があり、こちらには大型の美術や芸術関係の本を並べたいと考えております。

前に新しい図書館では複製絵画の貸出も行いたいと申し上げておりましたが、エレベーター付近にピクチャーレールを設け、ここに絵を飾りたいと考えています。この辺一帯はアート関係の本を置くコーナーとしたいと考えております。

それから外階段の右側の横に 4 連 6 段の書架が並んでおりますが、文学関係の本を配置したいと考えています。

それから情報発信コーナーの左側ですが、楕円のテーブルがあるあたりにハンディキャップのコーナーを作りたいと考えています。前回までは拡大鏡はカウンターのすぐ上の所にあつたのですが、カウンターの前に持ってきて、拡大鏡を置く机は一つですが、一つは車いすの人のための読書席と考え、その隣の自動貸出機の下に書架は大活字本を入れる棚にしたいと思っております。

今回書架を若干増やしたことにより、座席数がその分減っておりますが、全体としては 259 席程度の座席数は確保しておりますので大丈夫ではないかと思ひますし、もう少し工夫することにより座席数は増やせるのではないかと考えています。

以上で説明を終わります。

#### ◎早川委員長

はい、ありがとうございます。まず 2 階フロアの方からご意見を頂戴したいと思います。

#### ◎下澤委員

前回、おはなしのへやに靴箱を用意するということでしたが、図面からは確認できないので、どのようになるのか教えてください。

#### ◎柴崎館長

絵本架あたりに置けるよう、設計担当と相談していきたいと思ひます。

◎三塚委員

おはなしのへやの間口は狭くなったのでしょうか。

◎柴崎館長

変わっていません。3mのままです。

◎三塚委員

家型家具には靴を脱いで入るようにするのでしょうか。

◎柴崎館長

家型家具は市販品ではなく造作物になります。靴を脱いで入るようにするのが良いのか、それとも靴のまま入れた方が良いのか、これから決めていくことになります。

◎佐伯委員

前回カーペット敷きについて検討がなされたが、そのことを踏まえたものなのでしょうか。

◎柴崎館長

衛生的な問題があるとのことご意見を踏まえ、今回はその考えは止め、全てフローリングにしています。また、家型家具についてですが、委員の皆さんから何かご希望があれば教えてください。

◎三塚委員

剣淵町の「絵本の館」というのもたまたま見たのですが、屋根が無い広い家型家具があったんですね。親子が楽しそうに入って行って、本を読んでいる風景を見ました。そのイメージなのかなと思っていました。

◎柴崎館長

あれはままごと遊び家具のおうち「ごっこはうす」といって、屋根は無いのですが囲われていておはなしも読めるようになっていて、インターネットでは親子が本を読んでいる写真が掲載されていると思われます。相当広い面積を使っておりますので、あれほど大きなものはできませんが、中にベンチを置いてお母さんと子ども一人ぐらい入って本が読めるようなものというイメージを持っています。

◎下澤委員

雑誌架ですが、黄色いソファは隣りの人と反対を向いて座るような、互い違いの座り方になるということでしょうか。

◎柴崎館長

その通りです。互い違いに座れるようにし、お隣の人があまり気にならないような形のもので。

◎下澤委員

ゆったりと座れていいと思いますが、この形だと座席数に制約が生まれてしまうのではないのでしょうか。利用者数を考えるともう少し座れる方が良いのではないのでしょうか

◎柴崎館長

ソファの隣に閲覧テーブルを2つ設けていますが、ゆったりとくつろいで読める座席も必要ではないかと考え、このように配置してみました。座席についてはより多く置けるようにもう少し考えてみようと思います。

◎早川委員長

岡本さんはお気付きになったことはありますか。

◎岡本アドバイザー

私としてはよく練られている案だと思っています。雑誌架のところのソファは、他にも座る箇所がありますので良いのではないかと思います。他の図書館で使われているのを見ますと、実際に使い始めると違和感をあまり感じないのではないかと思います。

雑誌や新聞コーナー周辺の座席数が足りるかということですが、あまりこの場所に座席数を多く置くというのもどうなのかなと思っています。図書館に新聞だけ読みに来られるような、固定したシニアの方のたまり場になってしまいがちですので、そうしたことは避けた方が良いのではないかと思います。そういう意味では、カフェもありますし、館内の他にも座れる場所がありますので、自分の気に入った場所で新聞や雑誌を持って読んでいただくような形が良いかと思います。

一つ気になる点として、現時点ではやむなしなのですが、検索端末機を置く部分ですね。将来的にこのようなシステムが使われるのか不安があります。つまりスマートフォンが普及してきますと、手元で調べた方が早いというふうに段々なってくると予想されます。ただ今回あまり台数を置いているわけではありませので、全ての方がそのようなものをお持ちではありませんし、スマートフォンの所有率が100%になる前に新図書館が完成しますので、現時点ではやむなしだと思います。

図書館が完成して5年ほど経た後、図書館システム更新する時期に改めて考えることになるのだらうと思います。

◎板橋委員

総合カウンターのところに戻却カウンターがありますよね。それから登録相談というのがありますよね。職員による貸出しはどこなのでしょう。

#### ◎柴崎館長

返却カウンターとなっていますが、貸出し・返却カウンターと捉えてください。できるだけ自動貸出機を使っていたきたいと考えていますが、必ずしも皆さんが使うわけではありませんので、返却カウンターに2席ありますが、こちらでも貸出しを行えます。

その隣にあるグレーの■は自動返却機で、ここに投入すれば一時返却ができるものです。

#### ◎板橋委員

AVコーナーがありますのでDVDも貸出しするかと思いますが、総合カウンターで借りるようになるわけでしょうか。

#### ◎柴崎館長

そのようになります。自動貸出機を使えるようなICタグにするかどうかは、今のところまだ結論は出していませんが、いずれこの場所で貸出しや返却ができるようになります。

#### ◎板橋委員

前回もお話しましたが、自動貸出機は使えない人もいますので、貸出しや返却について確認させていただきました。

#### ◎早川委員長

はい、ありがとうございます。私からよろしいでしょうか。

まず動線について申し上げたいと思います。入口から階段までの動線はしっかりと確保されているのですが、確保されていない動線が一つあります。児童コーナーへの動線が確保されていけませんのできちんと確保すべきだと思います。具体的には丸いソファの右下のソファが動線を完全に塞いでいますので、ベビーカーで来られる方のことも考えますと、幅2メートル近くの動線を確保した方が良いと思います。

2点目ですが、先ほど岡本さんがおっしゃった蔵書検索機の配置について、将来を見据えて増減できるようにフレキシブルにしやすい形にした方が良いかと思いますが、私はオープン時に蔵書検索機は多くあった方が良く考えます。その後岡本さんがおっしゃったように、時代の変化によってあまり必要が無くなった時には転用できる形が望ましいかなと思います。

3点目ですが、インターネットのWi-Fiの環境ですが、最初にきちんと投資をしてそれに見合った環境をつくればそれほど費用はかかりませんので、しっかりしたものを整備してください。巨大なスペースになればなるほど、その分アンテナを立てていないと電波が届かなくなったりしますので。

4点目はソファについてですが、南相馬市立図書館では雑誌コーナーにソファとテーブル・椅子をたくさん配置したのですが、比べるとソファがとても人気があります。私はテーブル・椅子の方がたくさん利用されると思ったのですが、おもしろいことに利用者の使い方を見ていますと、ソファの方がくつろげてリラックスしているように見受けられました。1年2年過ぎて慣れてきますと、使われ方は大体半分くらいに落ち着いてきます。テーブルは新聞を広げやすい点や多目的に使える点がありますので、そのようなことを考えながら配置するとよろしいのではないかと思います。

最後に家型家具ですが、私としてはもう少し大きく造れないかなと考えます。私が最初に手掛けた岩手県川崎村立図書館で、私としては本当は造りたかったのですが、いろいろな事情で挫折しました。ぜひこのランドマーク的な役割を果たすような、見れば入りたくなるような物にさせていただきたいと願っております。

### ◎岡本アドバイザー

そういう意味では白河市立図書館は大きく設えています。例えば現在のどんぐりハウスの雰囲気を醸し出すような形が、これから新しくできる名取市の図書館らしくて良いのではないかと考えます。どんぐり図書館の歴史は語り継いでいくべきだと思いますので、そういう意味ではお子さん方が使う場所だからこそ、今後の震災・防災教育の役割を十分果たすので、あの建物をミニチュアにできれば最高に良いのではないかと思います。

### ◎大野委員

白河市立図書館はおはなしのへやがそのままお家になっている感じなのですね。

### ◎早川委員長

何人も寝泊りできる広さを持っていますからね。

### ◎大野委員

汽車型書架を止めて、今の計画の家型家具より3倍くらい大きく造っても良いのではないのでしょうか。

### ◎三塚委員

小さくかわいくても良いと思います。

### ◎早川委員長

岡本さんがおっしゃるように、今の図書館を思い起こさせるようなというのは素敵な考えですね。夜になると中のライトが見えるような、木の感じが出ているお家だと良いですよ。



それともう一点ですが、板橋委員が先ほどおっしゃったAV資料、DVDやCDについて児童コーナーのカウンターでも貸出しできるような考えがあっても良いのかなと思います。子どもたちが迷っていたらカウンターからすぐ案内できますので、この図面は良く考えられていると思います。オープンしてから半年間は機器類の操作で必ず職員は利用者から呼ばれますので、職員がすぐに出向けるような形状になっているとなお良いだろうと思います。

私から以上ですが、他にご意見はありますか。無ければ次は3階フロアについてご意見をお願いします。

#### ◎大野委員

前の委員会でEV3は4階までは上がらないと伺いましたが、構造的に難しいのでしょうか。

#### ◎柴崎館長

EV3は図書館専用のエレベーターになります。4階は公民館フロアで、4階へ上がるエレベーターはEV1になり、EV3では4階に上がりません。

#### ◎大野委員

一般人の感覚としては、1階は店舗が入っているにしても、2・3・4階は市の施設であるわけですね。4階までが市の施設だという認識に立てば、予算のこともあるでしょうが、EV3を4階まで上がれるようにした方が良いのではないのでしょうか。

#### ◎板橋委員

階段もエレベーターもあるわけですから、私は不要だと考えます。仮にEV3が4階まで上がれるようにしたとしても、公民館内の部屋に多大な影響が出てしまうでしょうし、何よりセキュリティの問題が一番大きいと思います。

#### ◎岡本アドバイザー

エレベーターを一基設置しますと、年間100万円以上の維持費が発生します。仮に4階までエレベーターを伸ばすとBDSを設置する必要が生じますが、セキュリティ面よりは市民の方の安全性に関わる場合がありますのでお勧めできません。BDSをエレベーター前後に設置している図書館が無いわけではないですが、エレベーターに乗る際にBDSの発する音で利用者が一瞬戸惑ってしまい、場合によっては事故につながる事が考えられますのですごく怖いですね。

#### ◎三塚委員

車椅子の利用者がおはなしのへやへ行く場合には、どのような動線になりますか。

◎柴崎館長

1階からエレベーターに乗って2階のエントランスホールで降り、図書館のゲートを通って中に入るといふ流れになります。図書館の3階へ行かれる方はEV3や階段2を使うことになります。

◎早川委員長

事務局から再度EV1とEV3の考え方についてご説明いただけますか。

◎柴崎館長

EV1はこのビルの1階から4階まで通っているエレベーターになります。公民館へ行く方はEV1に乗っていただいて4階まで行きます。ただし3階では止まらず通過するだけで、止まる階は1・2・4階になります。

EV3は2・3階の図書館フロアをつなぐエレベーターになり、一般向けの本が多く置いてある3階へ行くには、このEV3か階段2を使っていただくようになります。

それからEV2は職員専用のエレベーターになります。

◎早川委員長

ここで整理したいと思います。例えば、車椅子の方が4階の公民館を使って、帰りに本を借りるに図書館に寄り3階フロアに行こうとした場合、EV1で2階まで降りて図書館内に入り、EV3で3階フロアへ行くというようになりますが、この部分をもう少し工夫できないかなということですね。

◎三塚委員

やむを得ないとは思いますが、車椅子の方にとって1階から3階へ行こうとした場合に、2階で1回止まってエレベーターを乗り換えるわけですね。また帰りもエレベーターを乗り換えるわけですね。説明を聞いてご本人や付き添う方にとって大変だなと思いました。

◎早川委員長

ハンデのある方だけでは決してなく、私たち自身も含め高齢化問題をクリアできる技術があると良いのですが、これまでのように全ての箇所にBDSを設置することのない方法があればいいですね。

◎岡本アドバイザー

技術的な解決は非常に難しいでしょうね。方法があるとなれば、その方の利用者カードにエレベーターの仕組みを連動させ、障がい者の方がタッチすれば降りたい階で降りるということはできないことはないとは思いますが、費用はとてかかるでしょうね。

一番簡単に考えれば、3階のエレベーター周辺に人を配置できるのであれば解決できます。つまり3階で降りられるようにした場合、BDSが鳴った時にすぐ職員が対応できる人員配置ができればこの手の問題は大概解決できます。ですからシステム面より図書館職員を潤沢に配置できるかによって決まってくると思います。大がかりなシステムを入れてお金を使うより、本来は人を確保した方が良いです。障がい者の方への対応であれば、やはり人によるサポートがとても大切になってきます。そうなりますと名取市全体の問題になってくるわけですが、一方、名取市の場合図書館スタッフは多い方です。人員配置については、市民の皆さんのご了解というよりご指示があれば、こういう問題は解決できます。

今はどの図書館も減員されてきていますので、人を減らす分をシステムでサポートするという考えの結果、このようなエレベーターの問題が起きてしまうわけです。

#### ◎板橋委員

エレベーターに乗るのは健常者の方も乗りますので、障がい者の方へのサービスと異なるとそれはそれで別の問題が出てくるでしょうね。

#### ◎岡本アドバイザー

そういう意味で、やはり原始的ですが人による対応が一番良いわけですね。人の場合、ケースバイケースで判断できますので、透析で補助器を持っている方や呼吸器を付けている方がいますが、今後社会的にはどんどん増えてくるでしょうから、将来的には3階で降りられるようにすることは変えられるはずですので、どちらかといえば運用面において人にやさしくするためには人による対応が一番良いのかもしれませんが、その分人件費がかかってきますので市民の皆さんが許容できるかどうかということになります。

#### ◎三塚委員

ボランティアでそういったことも考えられるでしょうね。

#### ◎岡本アドバイザー

例えば、御用のある方はチャイムを押してください、というようなことは他の公共施設でも行われていますが、やはり貫徹するためにはいつでも動けるスタッフがいるということが前提になります。カウンターが混んで手が離せない状態になった時のことを考えると、おそらく職員心の負担が大変になると思います。目の前のお客さんの対応し

ながら、下の階で待っている障がい者の方をお待たせしてしまうという場合も出てくるでしょうから。本当にこの部分は悩ましいですね。銀行は比較的そのような対応をしています。フロアスタッフをたくさん配置しているからできているわけですね。駅も同様ですね。

#### ◎早川委員長

ここはぎりぎりまで検討が必要になるでしょうが、委員の皆さんから参考になるご意見を頂戴しましたので、事務局でより良い結論を出していただければと思います。

#### ◎柴崎館長

いろいろなご意見ありがとうございます。岡本アドバイザーがおっしゃったように、本当は3階にエレベーターを止めてBDSを設置し、ゲート近辺にカウンターを置いて、職員を配置して様々なことに対応する、ということができれば良いのですが、この3階フロアに2つのカウンターを設置するというのは、スペース面においても名取市図書館の職員体制においてもとても難しいことだと考えています。ゲートだけ付ければ解決する問題ではなく、そこには必ず人を配置しなければなりません。もちろんかなり検討しましたが、このような形を採用したいと考えています。

それから入口でチャイムを鳴らすという話がありましたが、目の不自由な方のためにエントランスホールからゲートまでは視覚障害者誘導用ブロックを敷設しますが、図書館内にはありません。お手伝いが必要な方は入口で呼んでいただいて、職員がサポートするという考えです。

#### ◎早川委員長

その他ありますか。

#### ◎板橋委員

3階にも自動貸出機を置きましたね。

#### ◎柴崎館長

はい、3階に2台、2階にも2台設置することにしました。予約取置コーナーという予約棚があり、本来は予約棚と自動貸出機はセットで設置するのですが、今のところその場所には置けないかもしれないという見通しで、予約棚からできるだけ近い場所で職員の目が行き届く位置に自動貸出機を置いています。今後もう一台自動貸出機を置くとしたらこの場所にしようと考えています。

#### ◎板橋委員

カウンターは大丈夫ですね。

◎柴崎館長

もちろん大丈夫です。

◎三塚委員

この図書館に日差しはどのくらい入るのでしょうか。

◎大平主任

マンションが建つ影響で、燦々と日差しが入ってくるというのは望めません。全体的に日陰になってしまいますが、3階ではヤングアダルトコーナー、2階ではカフェコーナーの位置が確実に日差しが入ってくる位置だと思われます。

◎板橋委員

本当はマンションの場所が図書館であれば良かったのでしょうか。

◎三塚委員

2階の児童コーナーの上のところに一般開架には、どのような本を置くのですか。

◎柴崎館長

青いソファの右隣の書架複式5段3連の2つは子育て関連、さらにその右隣の2つの書架には児童文学研究関連を置く予定です。

◎三塚委員

今のどろり図書室でしている、季節の本の紹介といった面置きした展示のようなことはどこでするのでしょうか。

◎柴崎館長

面を見せられる絵本架にして対応したいと考えています。

◎早川委員長

岡本さん、ご意見ありますか。

◎岡本アドバイザー

収蔵量を考えるとこのような感じになると思います。整然と書架が並ぶ感じになりますし、6段ですので少し高めの書架ですが致し方ないところでしょう。皆さんはどうして

も今のどんぐり図書室に慣れてしまっているでしょうが、名取市図書館は本をもっと持っていますので、これらをきちんと出せるようにするということがとても重要だと思います。今見えている本は本当にごく一部ですので、市民の方が使いたい本、何か本格的に図書館で調べものをしようと思った時には、今のどんぐり図書室ではどうやっても限界があります。書庫にある本を表に出すことを考えれば、図面のように本棚がたくさん並ぶということで良いと思います。

また、早川委員長からも早い段階からご指摘されていましたが、座席数はかなりの数が確保されています。多ければ多いに越したことはありませんが、自ずと限界があるわけですので、今の配置案が落ち着くところではないかという気がします。書架脇にもスツールを設置しますので、本を取ってすぐ読みたいというニーズにも十分応えられるのではないかと思います。それでも座席数は足りないという声は出てくるでしょうが、現時点ではこの案がベストと考えて、将来的に電子書籍化が進めば本棚を減らすことができるというのは、既に研究機関の図書館では起きていますので、向こう 10 年 20 年 30 年とみていくと、この書架が段階的に電子化されて減ってきて、もう少し空間として利用できる部分が増えると言う感じになるのではないかと考えます。

## ◎早川委員長

ありがとうございます。他にご意見ありますか。無ければ私からよろしいでしょうか。

まず 2 階と同じく動線ですが、3 階は 2 階からしか上がって来れませんので、エレベーターや階段を使うしかないわけです。階段のところから出るとテーブルがあります。これは動線を塞いでいます。ここは動線を確保する必要があります。

同じく 2 階で本を手に取り、3 階で借りるとなった場合に、貸出しカウンターが階段・エレベーターから少し遠い場所にあります。これはもう一度検討された方が良いでしょう。このカウンターの形状は、利用者が相談しやすく、調べもののお手伝いがしやすいように相当考えられているものです。ただ位置的に利用者の動線を描いた上でもう一度検討された方が良いでしょう。

3 点目ですが、この展示テーブルはとてもよく考えられたと思います。とても魅力的です。ただし、より効果を発揮させるためには、下側に展示すればとても映えますし、また惹きつけられると思います。エレベーターから降りた方も、階段から上がって来られた方も、名取で力を入れているものがすぐに分かります。最低でも 3 箇所展示テーブルを設置すれば間違いなく見せ場になりますし、利用者の方の資料のご案内の導入にもなりますのさらに活きると思います。

それと職員はバックヤードで 2 階と 3 階をどのように移動するのでしょうか。

### ◎柴崎館長

E V 2 で移動します。

### ◎早川委員長

職員は本を持って 2 階と 3 階を移動することが日常業務になりますが、行ったり来たりが頻繁ですので大変なんですよね。一人の職員が利用者に 2 階で本をご案内しながら、利用者と 3 階に上がり職員だけ 2 階に降り本を探して、見つけた本を持ってもう一度 3 階へ上がって利用者に渡すというように、職員の動きが激しくかつ動く距離が長くなりますので、今までに無い大変さが出てきます。開館準備では職員はくたくたに疲れてしまうと思いますので、なるべくできる限り配慮ができればいいなと思います。それは職員のためでもあり、的確に早く利用者をご案内することにつながりますので。

上下の移動は並行移動よりも何倍も大変ですので、そのことを踏まえながら、より移動しやすく、ご案内しやすい形が取れば良いかなと考えます。

### ◎大野委員

当初からすると二転三転しつつここまで来て、柴崎館長をはじめ設計担当の方のご苦労が本当に伝わってきますが、さらに開館までにもいろいろあるかと思われまます。名取市図書館はやはり職員の方が親切で丁寧な対応をされていますので、私は誇れる図書館だと思っていますし、開館をとにかく楽しみにしています。

### ◎早川委員長

大野委員がおっしゃるように、職員の仕事ぶりを利用者としてとても評価されているというのは素晴らしいことだと思いますね。そこが崩れなければ、この図書館は皆さんの期待が集まりますし、名取の場合は期待を裏切らない図書館といった方が良いかもしれませんね。

## (2) その他

### ◎早川委員長

では (2) その他ですが、委員の皆さまから何かありましたらお願いします。

無いようですので、次回開催の予定をお願いします。

### ◎柴崎館長

今回の検討委員会の開催時間について手違いがあり、大変申し訳ありませんでした。前回の検討委員会の最後に午後 3 時からと申し上げましたのに、通知は午後 2 時から

となってしまいました。次回はこのようなことの無いように気を付けたいと思います。

本日いただいたご意見を最終のものとし、これらを基に修正した図面を次回の検討委員会で皆さまにご報告させていただきます。開催は年明けになるかと思いますが、日時については未定ですので、決まったら通知でご連絡させていただきます。

#### ◎早川委員長

はい、ありがとうございました。その他ありますでしょうか。

無いようですので、本日の議題（１）と（２）は以上とさせていただきます。ありがとうございました。事務局に進行をお返しいたします。

#### ◎事務局

はい、ありがとうございました。では（５）閉会になりますので、天間副委員長お願いします。

#### ◎天間副委員長

本日、皆さん熱心な議論を交わしましたので、非常に細かく具体的なものとしてできつつあり、我々の仕事としても内装に関しては完成に近づいてきているのかなと思ってるところです。大変ご苦勞様でした。以上、閉会のあいさつとします。